

令和 8 年度第 4 回

登 別 市 教 育 委 員 会 会 議 録

日 時 令和 8 年 7 月 3 0 日（木）午後 4 時 3 0 分

場 所 登別市民会館 小会議室

第4回 教育委員会議事日程

1 日 時 令和8年7月30日（木）午後4時30分

2 場 所 登別市民会館 小会議室

3 議 案

報告第5号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について

4 情報提供

（1）令和7年度生涯学習事業実績と点検評価

（2）外国語指導助手（ALT）の離任等について

（3）鷺別小学校区における学校適正配置に関する地区別検討委員会の立ち上げについて

5 出席者

（教育委員会4名）

教育長 安宅 錦也

委 員 赤井 秀輝

委 員 堅田 裕

委 員 木村 雅美

（事務局12名）

教育部長

土門 和宏

教育部参与

林 毅年

教育部次長

西川原 邦彦

総務グループ総括主幹

更科 亙輝

建築主幹

南雲 宏明

学校教育グループ総括主幹

佐藤 拓也

学務主幹

永井 久

学校給食センター長

木田 元樹

社会教育グループ総括主幹

大越 智輝

文化・文化財主幹

菅野 修広

図書館長

服部 博之

事務局（総務グループ）

原田 和穂

安宅教育長：ただいまの出席委員は、4名であります。定足数に達しておりますので、令和8年度第4回教育委員会を開会します。本日の議事については、報告1件、情報提供2件となっております。

最初に、報告第5号、「登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について」を議題とします。事務局からの説明をお願いします。

更科総務グループ総括主幹：「登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について」報告いたします。議案書の1ページからとなります。

6月開催、令和8年第2回登別市議会定例会追加提出議案、令和8年度登別市一般会計補正予算（第4号）及び令和8年度登別市学校給食事業特別会計補正予算（第1号）に関する意見について、議案書2ページのとおり臨時代理を行いましたので報告を行い、承認を求めるものであります。

議案書3ページからが補正予算書となっており、具体的な内容であります。国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、学校給食における保護者の経済的な負担軽減を図るため、登別市立中学校及び北海道登別明日中等教育学校前期課程において学校給食を喫食している生徒の令和8年度第5期（9月末納期）分から第10期（2月末納期）分までの学校給食費を減額するため、一般会計予算及び学校給食事業特別会計予算に必要となる経費を補正するものであります。

減額の内容についてであります。中学校1・2年生及び登別明日中等教育学校前期課程の生徒は、第5期分から第10期分までの給食費を一律3,000円に減額するものです。

また、中学校3年生につきましては、他の学年より年間の喫食数が少ないことから、第10期分の給食費を3,804円としており、第10期分のみ、その全額を減額するものです。

以上、当該補正予算に関する意見について、臨時代理を行いましたので、承認をお願いいたします。

安宅教育長：ただ今、報告第5号について、説明がありました。ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり）

安宅教育長：これをもって質疑を終わります。この件については、終了します。

以上で本日の議事は全て終了しました。次に、事務局からの情報提供をお願いします。（１）「令和７年度生涯学習事業実績と点検評価」について、大越総括をお願いします。

大越社会教育グループ総括主幹：情報提供（１）「令和７年度生涯学習事業実績と点検評価」について説明いたします。別冊資料をご覧ください。

こちらは毎年度作成しておりますが、社会教育グループが令和７年度に実施した生涯学習事業につきまして、実施概要に加え、評価と課題、今後の方向性を、第６次登別市社会教育中期計画に掲げた「人づくり」「文化活動」「健康づくり・スポーツ」などの項目ごとに記載しているほか、学識経験者として、登別市社会教育委員の会、登別市地域学校協働本部実行委員会、それぞれの代表者からいただいた意見や評価を記載しています。

次に、各項目の概要を説明いたします。４ページをご覧ください。はじめに、人づくり青少年世代です。こちらの項目では、青少年の健全育成と地域教育力の向上を目標に、体験活動の充実や地域教育力の向上に向けた学校・家庭・地域などの連携強化などに関する施策を実施いたしました。

こども１１０番スタディちゃんの家については、登録先の個人宅や事業所、計３７４件の協力をいただき、不審者等に遭遇した場合、Ｊアラートが発令された場合に子どもが駆け込んで助けを求め、その安全を確保するものであります。

少年の主張大会については、昨年６月に緑陽中学校で開催し、市内の中学生１０名が社会に向けての意見や未来への希望などを発表しました。

二十歳のつどいについては、本年１月に市民会館で開催し、参加した３０４人の若者が大人への誓いを新たにしました。

地域学校協働本部事業については、学校・家庭・地域が連携して、中学校区ごとに地域の特色を生かした自然体験、生活体験、社会体験など各種事業を実施しました。

各小学校で行っている世代間交流事業や学校農園活動のほか、緑陽中学校区の餅つきや幌別中学校区のふれあい農園などを実施しました。

鷺別地区放課後子ども教室については、鷺別小学校内に、放課後に子どもたちが安心して活動できる場を設け、地域住民の協力を得て、スポーツや文化活動、地域住民との交流などを実施しました。

評価と課題については、各事業を推進することができた一方、「学校・家庭・地域などの連携強化」という視点から、ボランティアとして事業に協力していただいている個人や団体との連携をより密にし、より効果的な取組としていくこと、また、

ボランティアの高齢化が進んでいることから、後継者の確保や担い手不足等を今後の課題として挙げています。

今後の方向性としましては、「地域との連携による青少年の健全育成」や「非行等の未然防止と子どもたちの見守り体制づくり」を強化し、目標である「青少年の健全育成と地域教育力の向上」を達成することができるよう、各種事業を推進していくとともに、事業の担い手育成の観点から、幅広い層へ参加を求めたり、情報を共有しながらともに活動していく関係の創出に努めていくこととしております。

次に、人づくり成人世代です。6 ページをご覧ください。こちらの項目では、学習意欲の向上の奨励や地域活動の担い手の発掘・育成を目標に、成人世代の人材発掘・育成等に関する施策を実施しました。

成人世代向けの学習事業については、布ぞうりづくり、手打ちうどん体験、縄文むしパンをつくろうなど、郷土資料館やのぼりべつ文化交流館カント・レラで実施した各種体験活動のほか、市民会館においてアイヌ文化講座を実施しました。

また、7 ページですが、家庭教育学級学習会を開催しております。保護者同士が、ときには親子で学び合う場として、おこづかいから学ぶお金の話、考える力を育むアニメ制作講座など計4回の講座を開催しました。

評価と課題としましては、「学習の場の情報収集と活用」、「成人世代の人材の発掘と育成」といった施策の方向性を踏まえ、事業の推進等に取り組んだ一方、今後とも関係機関や施設等との連携・協力を密にし、充実した内容で成人世代対象の事業展開が図られるよう、工夫・改善を進める必要があるとしております。

今後の方向性としましては、成人世代の学習機会の充実は、さまざまな社会教育事業と深い関わりがあり、市民の学習の質の向上を目指し、成人世代を対象とした事業の充実と創造的な取組が重要であることを挙げています。

次に、人づくり高齢者世代です、8 ページをご覧ください。学習機会の充実と高齢者の活躍による地域教育力の向上を目標に、学習機会の提供や高齢者の知識・技能などを伝える環境づくりの促進に関する施策を実施しました。

こちらの項目では、誰もが学ぶことのできる登別ときめき大学を事業として主に行っており、令和7年度は88名の登録者。全8回の基礎コース講座、うち最終回は体験入学講演会として、近年のクマ問題の背景と今後の向き合い方と題し、酪農学園大学の佐藤教授にご講演いただき、受講生のほか一般の方を含め103名が参加しました。

評価と課題としましては、「登別ときめき大学」は幅広い分野の講座を開催し、より多くの市民が参加しやすい事業の企画に努めるとともに、他団体が展開する講座等98を連携コースに位置付け、受講生が多くの学びを得る機会を確保しました。今後も、参加者のニーズや時代の変化に合わせ、多くの市民にとって興味深く有意義で、必要不可欠な知識等を学ぶことができる講座を実施していくこと。また、

「高齢者の知識・技能などを伝える環境づくりの促進」の観点から、地域学校協働本部事業として、各小学校で行われている世代間交流での昔遊びの伝承などについても継続して取組を進めることとしております。

今後の方向性であります。 「登別ときめき大学」については、運営委員とともにニーズの掘り起こし、関係機関との連携を密にするなど、ふるさと登別について学ぶことのできる「登別学」講座の充実に努めること、学校との連携・協力を一層深めながら、子どもたちに地域の歴史や文化について話をするような機会の創出など、新たな視点からの取組も検討していくことを挙げています。

次に、家庭教育です。 10 ページをご覧ください。家庭教育学級学習会について掲載しておりますが、先ほどの7ページのところの再掲となりますので、説明は割愛させていただきます。

評価と課題についてであります。家庭における教育力の向上を図るため、一人親世帯の増加や少子高齢化等といった時代背景の中、家庭教育の支援の取組が必要とされていることから、今後も、学習会を通じて保護者同士が交流を深め、家庭の教育力の向上が図られるよう内容の充実に努める必要があるとしています。

今後の方向性については、子どもたちの健全育成の基本は家庭教育であり、社会全体で家庭教育を支えていく環境づくりが大切であることから、保護者と子どもがともに学び合う場などの提供などに努めることとしています。

次に文化活動です。 11 ページをご覧ください。登別市文化振興基本計画に沿った施策の推進を目標に、市民の文化活動や文化を育む環境づくり、アイヌ文化の振興等の施策を展開しました。

アイヌ文化講座では、講演だけではなく、ししゅう体験を取り入れるなど、アイヌ文化の普及・啓発に取り組むとともに、西いぶり定住自立圏文化事業では、西胆振6市町合同の芸術文化の鑑賞事業として、だて歴史の杜カルチャーセンターにおいて、劇団四季「ミュージカル赤毛のアン」を開催しました。

評価と課題としましては、市民一人ひとりが自主的、主体的に文化の創造に関わるとともに、文化財の保護継承と活用に努め、市民がこのまちへの誇りと生きがいを感じることができる、個性ある文化活動と文化を育む環境づくりを進めるという観点から、さまざまな文化活動を展開したとしています。

今後の方向性としましては、関係団体と連携し、市民の主体的で多様な文化活動を促進するほか、誰もが文化に親しむことのできる環境の充実に努め、継続的に事業が実施できるよう、見直し・工夫改善を図る必要があるとしています。

次に、健康づくり・スポーツです。 12 ページをご覧ください。登別市スポーツ推進基本計画に沿った施策の推進を目標に、スポーツ・レクリエーション活動・健康・体力づくりの推進、競技スポーツの推進などの施策を展開しました。

登別市民ラジオ体操会は、市民の体力向上と健康保持、ラジオ体操の普及振興、地域住民のスポーツ振興を目的に、昨年7月26日土曜日に幌別西小学校、登別小学校で開催し、計100名余りの方が参加しました。

学校体育施設開放事業につきましては、地域におけるスポーツ振興と健康増進を目的に、鶯別中学校を除く市内小・中学校の体育館を平日夜間に開放しており、69のスポーツ団体、延べで約2万3千人が利用しました。

評価と課題であります。学校体育施設の開放について、利用団体に許可した学校・曜日以外にも空きがあれば利用できるようにして、利用促進を図ったこと。サービスとセキュリティの向上を図るため、各体育館に新たにスマートロック及び予約システムを整備し、利用団体による自主管理を実施しました。

今後の方向性についてであります。学校体育施設開放事業については、スマートロック等を活用し、さらなる利用促進を図るとともに、学校部活動の地域展開と併せ、地域における持続可能なスポーツや文化芸術活動の振興を目指し進めていくこと。引き続き、市民が生涯を通じてそれぞれの体力や年齢、技術、趣味、目的に応じ、気軽にスポーツに親しみながら健康で豊かな生活を送ることができるよう、スポーツ環境の整備に努めることとしております。

次に、学習環境の整備です。13ページをご覧ください。学びの循環と市民の学習の場の確保を目標に、学習に関する情報や学習の成果を活用する機会の提供などを施策としております。

講師派遣事業、生涯学習人材バンクについては、いずれも令和6年度から事業の主体を登別市文化・スポーツ振興財団として実施しております。

今後の方向性としましては、引き続き、持続可能なスポーツ・文化芸術の振興を目指し、関係団体の役割の明確化や連携の強化等を進めながら、多様な生涯学習事業を通じて、市民の学習環境のさらなる整備を図ることとしております。

次に、学識経験者からいただいた意見・評価について説明いたします。14ページをご覧ください。

各事業についての意見・評価についてであります。青少年世代の事業に対しては、「こども110番スタディちゃんの家」は、防犯面だけではなく、自然災害等の際の一時避難先として重要な場所であり、登下校時に、子どもが自ら危険を察知し適切に判断できるような指導とともに、地域全体でのより一層の啓発活動を継続していくことが重要であり、「スタディちゃんの家」への駆け込み訓練は、子どもの安全意識向上等に大きく寄与しており、一定の成果があったと思われる旨のご意見。

成人世代の事業に対しては、のぼりべつ文化交流館カント・レラは郷土資料館と統合し、縄文文化等の資料は郷土資料館に継承したところだが、今後は、関係機関との連携を深め、事業内容のさらなる充実と改善を図られたい旨のご意見。

高齢者世代の事業に対しては、「登別ときめき大学」では、令和7年度は登録者が増加し、幅広い講座構成が市民に好評であったと思う。今後も魅力的な講座の選定を行い、学びの拠点としてさらなる発展を期待したいとのご意見・評価。

家庭教育に対しては、令和7年度は令和6年度と比べ家庭教育学習会への参加人数が増加したところであり、現在の家庭環境のニーズに対応ができたものと思われ、今後も家庭環境の変化を見据えた内容の立案に期待する旨のご意見・評価。

文化活動については、多岐にわたる講座・講習会の実施を通して、市民の文化活動の充実に貢献していることから、今後も幅広い市民が文化に親しむことのできる魅力的な事業を積極的に進められたいとのご意見・評価をいただいております。

まとめとしましては、令和7年度は、地域連携を深めることで計画通り事業を遂行し、市民の生きがい創出に大きく寄与した。引き続き、地域や社会全体のウェルビーイング向上に資する事業展開を推進することに期待するとのご意見・評価をいただきました。

社会教育グループでは、学識経験者からいただいたこれらご意見や、本年度から計画期間とする第7次登別市社会教育中期計画を踏まえながら、生涯学習事業に取り組んでまいります。

なお、15ページ以降は参考資料でありますので、説明は省略いたしますが、令和7年度に教育委員会所管施設で実施した事業、ネイチャーセンターの指定管理者が実施した事業、登別市文化・スポーツ振興財団が実施した事業などを関連事業として掲載しております。

説明は以上です。

安宅教育長：ただ今の件について、ご質疑等はございませんか。

（「ありません」の声あり）

安宅教育長：私から1点よろしいですか。5ページのふれあい農園の関係ですが、昨年度田植えの方は実施できたけれど、収穫の方は、アライグマの被害で出来なかったと聞いていたんですが、今後の展開等についてどのように考えられているのかお知らせください。

大越社会教育グループ総括主幹：昨年度につきましては、ただ今ご指摘があったように、おそらく野生動物がネットの下から侵入して、稲を食べてしまったというところがございまして、収穫までは至らなかったというところがございます。

今後の展開につきましては、今年度は稲の関係は難しいところで、実行委員会側ともお話ししているのですが、来年、大豆、枝豆のような物を植えるような形で展

開できないかということを含めて現在実行委員会の方でも、幌別中学校区の方でも、今検討していると伺っております。

安宅教育長：委員の皆さんから何かありますか。よろしいですか。

（「ありません」の声あり）

安宅教育長：この件については、終了します。

次に、（２）「外国語指導助手（ALT）の離任等」について、佐藤総括をお願いします。

佐藤学校教育グループ総括主幹：それでは、情報提供資料３１ページ、「外国語指導助手（ALT）の離任等について」をご覧ください。

教育委員会では、外国語指導助手を４名任用し、小学校・中学校に派遣しています。

このたび、資料に記載しております、アンジェリーナとジゼルの２名のALTが７月３１日付けにて離任することとなりましたので報告します。

アンジェリーナは、資料の一覧表の中段あたりに記載のとおり、幌別西小、鷺別小、登別中の３校を担当し、ジゼルは幌別小、若草小、幌別中の３校を担当しました。そのほかに、資料の「その他活動等」の欄に記載のとおり、小中学校以外の場合でも活動しました。

その２人が離任することに伴う後任者については、資料の一覧表の下に記載のとおり、令和８年８月５日付けにて、スコットランド出身の ヒル オリビア グレイス と、アメリカ合衆国フロリダ州出身のメンドーザ ガブリエラ アレハンドラ が着任することとなっていますので、報告いたします。

説明は、以上となります

安宅教育長：ただ今の件について、ご質疑等はございませんか。

（「ありません」の声あり）

安宅教育長：来月から新しいALT、また二学期に向けて準備等よろしくをお願いします。
その他、更科総括どうぞ。

更科総務グループ総括主幹：当初の情報提供の予定に入っておりませんが、鷺別小学校区における学校適正配置に関する地区別検討委員会を立ち上げましたので口頭にて情報提供をさせていただきます。

鷺別小学校は、児童数の減少が進んでいることから、学校適正規模・適正配置の指針において、令和12年度までを目途に若草小学校との統合について検討することとなっており、本委員会は、それに関連して今後の鷺別小学校区の教育の在り方についてPTA役員や学校運営協議会委員、地域の連合町内会役員の方などに委員となっただき協議するもので、7月22日に第1回の会議を開催しました。

今後は8月に保護者向けのアンケートを行い、その集計結果などを基に9月以降に協議していき、登別中学校や幌別東小学校の際と同様に令和8年度末頃に市教育委員会に対して統合等に関する意見書を提出いただく予定となっております。

また、西陵中学校につきましても同様に令和12年度までを目途に幌別中学校との統合について検討することとなっており、こちらにつきましても地区別検討委員会を立ち上げ、協議を進めさせていただきます。

安宅教育長：ただ今の件について、ご質疑等はございませんか。

（「ありません」の声あり）

安宅教育長：それでは、すべての案件が終了しました。

委員の皆様より、情報提供等ございませんか。

（「ありません」の声あり）

安宅教育長：最後に、8月の定例教育委員会の開催日について予定したいと思います
が、次回の開催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

更科総務グループ総括主幹：定例の教育委員会につきましては、毎月最終木曜日に開催しているところでありますので、8月については、8月27日木曜日の16時30分からと考えております。

安宅教育長：それでは、事務局より提案のありました8月27日木曜日の16時30分で皆様のご都合は如何でしょうか。

（「大丈夫です」の声あり）

安宅教育長：では、決定とさせていただきます。詳細につきましては、後日事務局よりお知らせ願います。

以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。